|  |  |
| --- | --- |
| 様式第８号（本人→中学校等→特別支援学校） |  ※受検番号　 |

自　己　申　告　書

 令和　　　年　　　月　　　日

　鳥取県立　　　　　　　　　　学校長　　様

出身(在学)学校名

志願者氏名

保護者等氏名

　わたしは、貴校への志願にあたり、以下のことを申告します。

|  |
| --- |
| 【特別支援学校に理解してほしいことがら】　　学校に行けなかった理由、特別支援学校で学びたいこと、将来の希望などについて記入してください。 |
|

 （次ページに注意事項あり）

自己申告書についての注意事項

１　特別支援学校に理解してほしい特別な事情がある志願者は、出身（在学）学校から自己申告書用紙の配付を受け、志望先特別支援学校に提出することができる。

２　自己申告書を提出できる者は以下のとおりとする。

（１）第３学年の欠席日数が５０日以上の者

（２）第３学年の欠席日数が５０日未満であるが、次のいずれかに該当する者

ア　適応指導教室、児童相談所などに長期間通ったことがある者

イ　学校の保健室・相談室や病院に長期間通ったことがある者

ウ　第１学年又は第２学年の欠席日数が原則として５０日以上の者

３　記載上の注意

（１）自己申告書の記載内容は、学校に行けなかった理由、特別支援学校で学びたいこと、将来の希望など、志望先特別支援学校に理解してほしいことがらとする。

（２）自己申告書の志願者氏名及び申告の内容は志願者本人が、また保護者等氏名は保護者等本人がそれぞれ記入する。

（３）※欄（受検番号欄）には記入しないこと。

（４）押印不要。

４　自己申告書を提出しようとする者は、この申告書を出身(在学)学校名、本人氏名を明記した封筒に入れて厳封し、志願書とともに出身(在学)学校長に提出する。

５　自己申告書の提出を受けた出身(在学)学校長は、他の出願書類とともに志願先特別支援学校の校長に提出する。

６　出身(在学)学校長から自己申告書の提出を受けた特別支援学校長は、自己申告書の内容に応じて、面接等の仕方に配慮する。

７　出身(在学)学校長から自己申告書の提出を受けた特別支援学校長は、記載内容によって志願者に不利が生じることのないように配慮する。